

平成30年11月1日  
京都市立宇多野小学校  
校長 和田 夕美子

## 平成30年度 宇多野小学校 前期学校評価アンケート 結果のご報告

今年度も、児童、保護者、教職員の三者で学校アンケートを実施しました。保護者の皆様には、お忙しい中、アンケートのご協力をいただきありがとうございました。

また、10月19日の学校運営評価委員会でも貴重なご意見をいただきました。今以上に学校が地域や家庭と協力し、今後の取組に生かしてよりよい学校づくりを目指していきます。

### 宇多野小学校 学校教育目標 一人一人がががやく学校 ワンランク上の自分をめざそう

#### めざす子ども像

- ・自分のおもいや考えをいきいきと表現する子
- ・自分からあいさつする子
- ・ものを大切にする子

#### アンケートの質問項目

- 授業は、わかりやすいですか。
- 授業で、話し合うことは楽しいですか。
- 授業で「めあて」を確かめ、「ふりかえり」を行っていますか。
- 自分から進んで宿題以外の家庭学習をしていますか。
- 学習ノートを見やすく書いていますか。
- 学習に、図書や資料を使っていますか。
- 周りの人から大切にされていますか。
- 地域の行事に進んで参加していますか。
- 学校のきまりや社会のルールを守っていますか。
- 自分からあいさつができますか。
- 読書の習慣が身についていますか。
- 相手を思いやり、親切にすることができますか。
- ものを大切にしていますか。
- 睡眠時間が8時間以上とれていますか。
- 毎日朝ごはんを食べていますか。
- 安全に集団登校できますか。
- 安全に下校できますか。
- 外遊びやスポーツなどで毎日体を動かしていますか。
- テレビを見たり、ゲームをしたりする時間を持てていますか。

#### 児童アンケートの結果

質問項目	選択度				
	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	その他
1. 授業は、わかりやすいですか。	66.5%	32.3%	1.3%	0.0%	
2. 授業で、話し合うことは楽しいですか。	56.2%	35.8%	3.8%	3.9%	
3. 授業で「めあて」を確かめ、「ふりかえり」を行っていますか。	66.2%	28.1%	4.3%	1.4%	
4. 自分から進んで宿題以外の家庭学習をしていますか。	31.5%	36.2%	18.8%	13.4%	
5. 学習ノートを見やすく書いていますか。	52.6%	32.8%	8.8%	5.8%	
6. 学習に、図書や資料を使っていますか。	37.4%	39.6%	23.0%	0.0%	
7. 囲いの人から大切にされていますか。	60.8%	30.8%	5.6%	2.6%	
8. 地域の行事に進んで参加していますか。	40.8%	29.3%	21.8%	8.2%	
9. 学校のきまりや社会のルールを守っていますか。	56.8%	37.4%	5.8%	0.0%	
10. 自分からあいさつができますか。	48.9%	42.6%	7.1%	1.4%	
11. 読書の習慣が身についていますか。	54.5%	34.5%	9.7%	1.4%	
12. 相手を思いやり、親切にすることができますか。	48.1%	50.4%	1.5%	0.0%	
13. ものを大切にしていますか。	61.4%	30.3%	5.5%	2.8%	
14. 総眠時間が8時間以上とれていますか。	55.0%	29.0%	14.5%	1.5%	
15. 毎日朝ごはんを食べていますか。	91.4%	5.8%	2.9%	0.0%	
16. 安全に集団登校できますか。	75.2%	14.6%	10.2%	0.0%	
17. 安全に下校できますか。	81.7%	13.7%	4.6%	0.0%	
18. 外遊びやスポーツなどで毎日体を動かしていますか。	48.2%	34.0%	9.9%	7.8%	
19. テレビを見たり、ゲームをしたりする時間をきめていますか。	33.6%	34.4%	10.7%	21.4%	

#### 保護者アンケートの結果

質問項目	重要度					実現度				
	重視できる	やや重視できる	あまり重視できない	重視ではない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない	
お子さんは、授業がわかりやすいと感じていますか。	86.6%	13.4%	0.0%	0.0%	26.7%	59.7%	10.1%	2.3%	1.0%	
お子さんは、授業で話し合うことが楽しいと感じていますか。	71.6%	28.1%	0.3%	0.0%	26.4%	59.7%	12.5%	0.3%	1.0%	
お子さんは、授業で「めあて」を確かめ、「ふりかえり」を行っていますか。	67.2%	30.7%	1.7%	0.3%	21.7%	55.9%	15.3%	5.0%	2.1%	
お子さんは、自分から進んで家庭学習をしていますか。	64.0%	34.7%	1.0%	0.0%	19.9%	35.2%	32.1%	12.9%	0.0%	
お子さんは、学習ノートを見やすく書いていますか。	66.5%	32.4%	1.1%	0.0%	27.4%	44.2%	20.0%	7.7%	0.7%	
お子さんは、学習に図書や資料を使っていますか。	53.4%	43.4%	2.8%	0.4%	13.3%	36.1%	42.8%	7.7%	0.0%	
お子さんは、囲いの人から大切にされていますか。	94.9%	5.1%	0.0%	0.0%	70.9%	27.7%	0.3%	0.0%	1.0%	
お子さんは、地域の行事に進んで参加していますか。	46.8%	48.8%	3.6%	0.8%	31.8%	46.4%	17.8%	3.6%	0.4%	
お子さんは、学校のきまりや社会のルールを守っていますか。	85.2%	14.8%	0.0%	0.0%	50.5%	44.8%	4.5%	0.3%	0.0%	
お子さんは、自分からあいさつしていますか。	83.5%	16.1%	0.4%	0.0%	20.8%	53.4%	22.8%	1.8%	1.1%	
お子さんは、読書の習慣が身についていますか。	67.8%	32.2%	0.0%	0.0%	30.3%	29.9%	31.8%	8.0%	0.0%	
お子さんは、他の人を思いやり、親切にすることができますか。	91.2%	8.8%	0.0%	0.0%	43.9%	50.0%	5.0%	0.4%	0.7%	
お子さんは、ものを大切にしていますか。	80.2%	18.8%	0.0%	0.0%	19.3%	50.8%	24.2%	5.7%	0.0%	
お子さんは、睡眠時間が8時間以上とれていますか。	84.8%	14.9%	0.4%	0.0%	52.9%	38.0%	7.7%	1.5%	0.0%	
お子さんは、毎日朝ごはんを食べていますか。	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	78.5%	17.7%	2.8%	1.1%	0.0%	
お子さんは、安全に集団登校できますか。	91.8%	8.2%	0.0%	0.0%	69.2%	28.2%	1.8%	0.4%	0.4%	
お子さんは、安全に下校できますか。	92.6%	7.4%	0.0%	0.0%	52.3%	43.5%	1.8%	0.4%	1.9%	
お子さんは、外遊びやスポーツなどで毎日体を動かしていますか。	69.1%	29.8%	1.1%	0.0%	39.6%	39.3%	17.5%	2.9%	0.7%	
お子さんは、テレビを見たり、ゲームをしたりする時間を持てていますか。	67.9%	29.9%	1.8%	0.4%	14.2%	28.0%	43.6%	13.1%	1.1%	

#### 教職員アンケートの結果

質問項目	重要度					実現度				
	重視できる	やや重視できる	あまり重視できない	重視ではない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来っていない	わからない	
児童は、授業がわかりやすいと感じていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
児童は、授業で話し合うことが楽しいと感じていますか。	91.8%	18.2%	0.0%	0.0%	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
児童は、授業で「めあて」を確かめ、「ふりかえり」を行っていますか。	91.8%	18.2%	0.0%	0.0%	18.2%	81.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
児童は、自分が進んで家庭学習をしていますか。	91.8%	8.1%	0.1%	0.0%	9.1%	81.8%	0.0%	0.0%	0.1%	
児童は、学習ノートを見やすく書いていますか。	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	63.8%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
児童は、学習に図書や資料を使っていますか。	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	9.1%	45.5%	45.5%	0.0%	0.0%	
児童は、囲いの人から大切にされていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
児童は、地域の行事に進んで参加していますか。	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	9.1%	54.5%	0.0%	0.0%	27.3%	
児童は、学校のきまりや社会のルールを守っていますか。	91.8%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%	72.7%	18.2%	0.0%	0.0%	
児童は、自分があいさつしていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	54.5%	36.4%	0.0%	0.0%	
児童は、読書の習慣が身についていますか。	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%	0.0%	
児童は、他の人を思いやり、親切にすることができますか。	90.9%	8.1%	0.0%	0.0%	18.2%	81.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
児童は、ものを大切にしていますか。	90.9%	8.1%	0.0%	0.0%	0.0%	63.8%	36.4%	0.0%	0.0%	
児童は、睡眠時間が8時間以上とれていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	63.8%	18.2%	0.0%	0.0%	
児童は、毎日朝ごはんを食べていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
児童は、安全に集団登校できますか。	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%	72.7%	0.0%	9.1%	0.0%	
児童は、安全に下校できますか。	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	90.9%	0.0%	0.0%	0.0%	
児童は、外遊びやスポーツなどで毎日体を動かしていますか。	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	18.2%	54.5%	27.3%	0.0%	0.0%	
児童は、テレビを見たり、ゲームをしたりする時間をきめていますか。	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	45.5%	9.1%	18.2%	27.3%	0.0%	

#### 分析①「授業は、わかりやすいですか。」

今年度新たに設けた質問です。児童は98.8%がわかりやすいと感じています。この結果はうれしいことですが、保護者は12.6%の方がわかりやすいと感じていないという結果になりました。また、教職員も18.2%が児童にとってわかりやすい授業だと思っていない結果となっています。児童にとってわかりやすい授業は学力向上の必須条件です。日々の授業ももちろんですが、校内研究授業などで教員の授業力アップを図り、子どもたちにわかりやすい授業ができるようにしていきます。



#### 分析②「授業で、話し合うことは楽しいですか。」

92.1%の児童ができると感じています。保護者は60%ができると感じています。教職員は77.7%ができると感じています。主体的に授業に参加する姿は時期学習指導要領にも明記され、今後授業を行う上で大きなポイントとなります。また、自分の思いや考えを話す能力は、その子の一生の財産になると思います。読書活動を中心に児童たちの語彙が豊富になるような指導をしたり、ノートを見やすくまとめる力を高め、めざす子ども像にある「自分のおもいや考えをいきいきと表現する子」を育てていきたいと思います。



#### 分析③「授業で、「めあて」を確かめ、「ふりかえり」を行っていますか。」

児童は94.3%、教職員は100%ができると感じています。日々の授業では、始めに「めあて」を提示し、終末に「ふり返り」をすることを基本として行っています。目標を持ち、自分がどのように取り組んだのかを振り返る活動は自分を客観的に見つめ、更なる目標に向かってがんばる原動力となります。また、目標を自分なりにもつことで自分に合った家庭学習につながると考えています。学校教育目標にあるようにワンランク上の自分をめざせるように日々の授業に取り組んでいきたいと思います。

#### 分析④「自分から進んで家庭学習をしていますか。」

70%近くの児童が、宿題以外の家庭学習を行っていると答えています。しかし、45%の保護者が進んで家庭学習ができないと感じている結果となりました。お子さんが自分の興味関心があることを調べたり、苦手なことを復習したり、次の日の予習をしたりすることは、学習意欲につながりとても大切なことです。学校では、家庭学習を支える手がかりとして「宇多野版自主学習のススメ」を配布しています。“宿題以外に何をしようか”と思った時の参考にしてください。これからも自分で学習を進めたり調べたりする楽しさを味わってほしいと思います。



#### 分析⑤「学習ノートを見やすく書いていますか。」

できていると感じている児童が85.4%となっています。保護者は70%を超えていました。しかし、教職員は63.6%となっており、36.4%あまりできていないと感じています。児童がきちんとノートを書くためには、指導者もわかりやすい板書を心がけなければなりません。なおかつ、児童が赤鉛筆で線を引いたり、ポイントを書き込んだりする工夫も必要です。今年度も引き続き「ノート検定」を行っています。この検定では、各学年に応じたノートの書き方を指導し、その書き方でノートがきちんとかけているかを評価しています。ご家庭でも時々お子さんのノートを見てください。

#### 分析⑥「学習に図書や資料を使っていますか。」

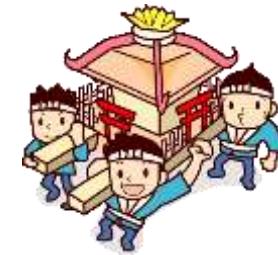
児童は77%ができると感じており、昨年度より若干できていると感じている割合が増えました。教職員は54.6%と昨年度より減少傾向です。すべての授業で教科書以外の図書や資料を取り入れることは難しいことですが、意識的に授業の中に取り入れていきたいと思います。児童が主体的に学ぶ力をつけるため、分からぬ言葉に出合ったときに分からぬままに

#### 分析⑦「周りの人から大切にされていますか。」

教職員は100%できていると感じています。保護者は98.6%、児童は90%以上が大切にされていると感じています。しかし、児童の8.4%が大切にされていないと感じています。大人は大切にしているつもりでも子どもがその愛情を感じ取っていないということがこの結果になっていると考えられます。8.4%の児童についても徹底的に大切にし、「周りから大切にされている。」「自分は大切な存在だ。」と感じられるようにしていきたいと思います。また、児童が友達を大切にして理想的な人間関係を築いていけるように指導に努めます。ご家庭でも今までと変わらず子どもたちに愛情を注いでいただけたらと思います。

#### 分析⑧「地域の行事に進んで参加していますか。」

70.1%の児童ができると感じています。保護者は78.2%、教職員は63.6%ができると感じています。夏休みは「ワイワイ広場」、秋には「福王子神社のお祭り」など宇多野にはさまざまな地域行事があります。3年生の総合的な学習の時間では「福王子神社のお祭り」について学習しています。他の学年でも地域に出かけたり、地域の方に来ていただきて様々なことを教えていただいたら、子どもたちは地域の中で育ちます。子どもたちが、さらに地域のことを学び、愛着をもってくればと考えています。



#### 分析⑨「学校のきまりや社会のルールを守っていますか。」

94.2%の児童ができると感じています。保護者は95.1%、教職員は81.8%ができると感じています。みんなが安心して安全に生活するためにルールがあります。家庭や地域・学校。どの場所で過ごす場合でも、子ども同士でいけないことを指摘し合える雰囲気がでてほしいと感じています。そしてさらに自分たちでもルールを作っていく子どもたちに育ってくれたらいいなと思います。

#### 分析⑩「自分からあいさつができますか。」

91.5%の児童ができると感じています。保護者は74.2%、教職員では63.6%となっています。教職員の数値は昨年度より大幅に増えました。子どもたちにあいさつの習慣が身についていると感じられるようになっていますが、児童が感じている数値とはまだ大きく差が開いています。登校時などで児童の様子を見ていると、自分からすんとあいさつをする子はいますが、声が小さく聞こえないという児童も多くいます。自分でしているつもりでも相手に届かなければ「あいさつができる」ということにはなりません。また、あいさつをされたから返す、促されたからあいさつをするという児童もいます。残念なことにあいさつをしても無反応の児童もいます。ご家庭でもあいさつの大切さを教えていただき、地域などであいさつを交わしたりする機会をもうけていただけるとありがたいです。



#### 分析⑪「読書の習慣が身についていますか。」

児童と教職員は90%ができると感じています。これは昨年度よりいい傾向です。保護者はできていると感じている値が60.2%でした。家庭での習慣化にまだ課題があります。



学校では朝読書の時間に教職員による読み聞かせを行ったり、学習で積極的に図書を利用したり、児童の自ら進んで学ぶ力を伸ばしていきたいと考えています。

本は、絵本や物語だけではありません。図鑑や科学読み物、伝記など、いろいろな分野のものがあります。児童の興味や関心に合わせてご家庭で共に読んだり、眺めたりしながら、読書の幅をどんどん広げていってほしいと思います。読み聞かせに年齢制限はありません。ご家庭でも子どもと一緒に本を読む時間を作つていただけるとありがたいです。

#### 分析⑫「他の人を思いやり、親切にすることができますか。」

児童、保護者共にできていると感じている割合が90%以上、また教職員は100%でした。学校では日頃からクラスで人権教育を進めたり、たてわり活動として、異なる学年集団で一緒に遊んだりする活動を通して、学年を超えて相手の立場に立つて考えられるように取り組んでいます。これからも日々の活動の中で、相手を思いやる気持ちを育てていけるような取組を続けていきたいと考えています。

#### 分析⑬「ものを大切にしていますか。」

児童は91.7%ができると感じている一方で、保護者は70.1%、教職員は63.6%となっています。教職員の数値は昨年度より大幅に上がっていますが、まだ児童が感じているよりもできていないと感じている割合が多いです。学校生活の中では、ものを大切にしている児童が多くいます。しかし、忘れ物置場には毎日多くの忘れ物が置かれ、運動場には遊びに使った道具が片付けられずに置かれていることも少なくありません。めざす子ども像の「ものを大切にする子」を育していくためにも、日頃から記名をしたり、整理整頓を心がけたりして、お互い気を付け合えるように指導していきたいと考えています。

#### 分析⑭「すいみん時間が8時間以上とれていますか。」

児童が84%、保護者が90.9%、教職員が81.8%ができると感じています。睡眠は健康の基本となり、元気に勉強したり遊んだりするためにもとても大切です。また体の成長にも十分な睡眠は必要不可欠です。時々寝不足の子どもが保健室で休む姿もみられますので、子どもたちの睡眠時間が十分に取れますよう、引き続きご家庭の協力をよろしくお願いします。



#### 分析⑮「毎日朝ごはんを食べていますか。」

児童、保護者、共に95%近くができると感じています。しかし、児童の3%、保護者の4%が「あまりできていない」、「できない」と答えています。昨年度よりは減少しましたが気になる数値です。学校で取り組んでいる生活調べでも、朝ごはんを食べてない児童が数名ありました。朝ごはんについて農林水産省は、ホームページに「朝ごはんを抜くと、脳のエネルギーが不足して集中力や記憶力の低下などに繋がります。」とあげています。朝からバランスよくしっかりと食べることで、脳が活性化し、学習もはかどります。引き続きご家庭でのご協力をよろしくお願いします。

#### 分析⑯「安全に集団登校できますか。」

保護者が97.4%ができると感じています。一方で児童が10.2%、教職員が9.1%できていないと感じています。朝の登校指導をしていると、高学年のリーダーのもと、ほぼきちんと並んで登校している様子が見られますが、班によっては、おしゃべりが多く列がばらばらになってしまったり、ふざけあったりするところもあるようです。地域でも地域委員さんを中心にしてしっかりと見ていただいているが、家を出たところから自分たちでも安全を意識して登校してほしいと思います。学校でも一人一人が安全意識を高めてしっかりと登下校できるように指導していきます。ご家庭でもご協力お願いします。



#### 分析⑰「安全に下校できますか。」

今年度新たに設けた質問です。登校時は集団登校ということもあり、比較的児童が安全に登校できているのですが、昨年度下校時にケガをする事例が何件かありました。登校時は比較的安全に気を付けることができていますが、下校時に走ってけがをする子もいます。児童が95.4%、保護者が95.8%できていると感じています。教職員も100%ができると感じています。今のところ大きな事故もなく安全に下校できているようです。引き続き安全に気を付けて下校してほしいと思います。宇多野学区は坂が多いため、下り坂で走ってしまいケガをすることがあります。学校でも安全に気を付けて下校するように指導をしていきます。

#### 分析⑱「外遊びやスポーツなどで毎日体を動かしていますか。」

児童は82.2%ができると感じています。保護者が88.9%ができると感じ、教職員が72.7%ができると感じています。休み時間や放課後は元気に走り回り、ボールなどで遊ぶ児童の姿が見られます。これから寒い季節に向かうと、外で遊ぶ機会が少なくなるかもしれません、体力向上をめざして、外で元気いっぱい活動してほしいと思います。



#### 分析⑲「テレビを見たり、ゲームをしたりする時間を決めていますか。」

児童の68%ができると感じています。しかし保護者は42.2%、教職員は45.5%となっており全体的に低い数値です。携帯ゲーム機やスマートフォン、タブレット端末など、子どもたちの身近に様々な情報機器があふれている現在、その使い方を心配しています。学校でもケータイ教室や情報モラルの学習に取り組んでいます。ご家庭でも子どもたちと共に情報機器の使用時間を決めるなど、引き続きしっかりと見守っていただけますようにお願いします。



#### 学校運営協議会でいただいた主な意見

- 家庭学習の保護者の数値が低いので、保護者が意識できるようにアンケートの内容も考えてみてはどうか。子どもたちが「やりたいこと」を見つけられるように学校だけでなく、地域・保護者が子どもたちに体験の場を提供して、新しいことを出会わせるように進めていきたい。
- あいさつは人をつなぐきっかけとなるもので、大人になっても大切な習慣である。まず大人が見本となって子どもたちに態度で示していく様になってほしい。学校に来にくい児童などいろいろな子どもたちがいるが、様々な対応ができると思うので、引き続きいろいろな子どものことを受け止められる余裕がある学校でいてほしい。
- 子どもたちがこれから社会で生きていく中で本当に生きにくく社会となってきていると感じる。思っていることを言うことは大切だが、大人になると言いすぎたらたたかれる場面も出てくる。このまま時代が進んでいくと怖い。授業の中で自分の思ったことを素直に言える経験を今のうちに、大切なことは面と向かって話すこと経験を積んでほしい。
- 子どもたちの成長を学校だけでなく地域の目でも見守っていただきたい。そのためにも引き続き学校の取組を推進していき、家庭には地域とのつながりを持てるように働きかけたい。